

道の駅を使った地域活性化

2年1組 宮田 和弥 2年1組 八十島 駿
2年2組 梅村 和永 2年2組 松田 式虎
指導者 中田 敬子

1 課題設定の理由

愛媛県及び宇和島市への観光客の数は新型コロナウイルスの影響もあり減少傾向にある。そこで、私たちは宇和島市民が一つになることができ、観光客も楽しむことができる場所を起点に地域活性化を進めようと思い、きさいや広場を利用した地域活性化の活動を始めた。そのためきさいや広場をこれまで以上に県外または国外からの観光客向けの施設にするためにできることを調査し、考えるために本研究を行った。

2 研究の方法

(1) アンケート

道の駅「きさいや広場」に関するアンケート調査を学校内で実施した。（令和5年7月実施）

(2) インタビュー

アンケート結果をもとに自分たちが気になることをピックアップし、実際に職員の方と対談をし自分たちでも道の駅に関する地域貢献を考え、道の駅職員や市役所職員の方の協力のもと、考えを深めた。

3 結果と考察、まとめ

(1) アンケート結果から以上のことが分かった。

- ・ほとんどの人が年に1・2回しか訪れない
- ・観光マップの認知度は40%しかない

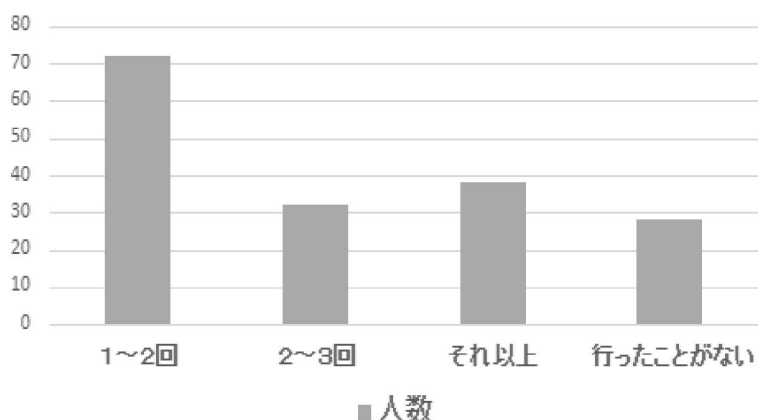


図1 一年に行く回数

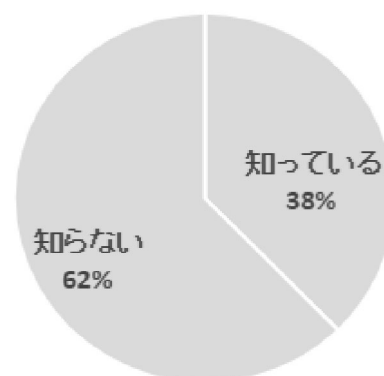


図2 観光マップの認知度

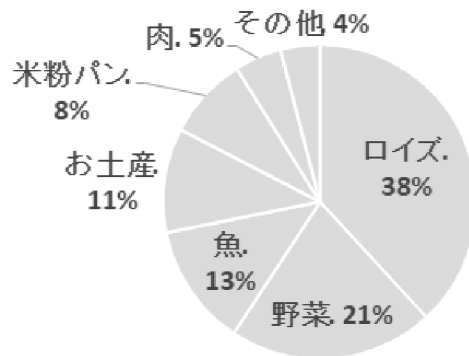


図3 主に買うもの

この結果から、きさいや広場をより良くするためには

- ・一番売れているロイズの製品を積極的に売る
- ・観光マップの認知度を上げる
- ・市民の行く回数を増やす
- ・普段の買い物で行きたい場所にする

以上のことが必要だと考えた。

(2) きさいや広場、並びに市役所の方とのインタビューを通して

きさいや広場における商品・テナントの決め方・イベントのことやその告知方法、どの世代に向けた取り組みをしているのか、外国船（クルーズ）や外国人に対する対応の気を付ける点や工夫していることなどを教えて貰った。また、きさいや広場の方では海外からの客に対してどのような点に力を入れているのか、市役所の方には特に海外からくる旅客船の様子についても詳しく教えて貰った。そして、実際に海外の旅客船の見送りにも参加した。

a きさいや広場での海外の方に向けての取り組み

- ・外国人客が 5,000 円以上購入した場合、税抜きでの支払いになるという観光庁のキャンペーンに対応した店作り（タブレットで情報を一斉管理し、後で観光庁に送信）
- ・キャンペーンの件数はコロナ前 780 件、コロナ禍 0 件、今年は 10 件程度
- ・値札、食券、トイレのウォシュレットの外国語表記や多言語を話せるスタッフを準備（まだまだ不十分であるとも語っていらした）

b 海外からの旅客船の見送りボランティア活動に参加して

- ・アメリカを出発し世界中を回る観光船を 9 月にきさいや広場で見送った。外国人観光客やクルーに宇和島の良かった点や場所について直接聞くことができた。ウエルカムボードを使ったほんの少しのおもてなしでもとても喜んでいただけたのでやっている自分たちも嬉しかった。
- ・宇和島市には年間 10 回程度クルーズ船が来て海外の人が訪れていることが分かり、宇和島市の場所の都合上松山から観光客を集めるよりも、クルーズ船で直接来る観光客に注目した方が良いように感じた。

4 今後の課題

今回の研究から、これからどのように宇和島をPRしていくのか、外国人観光客は何を求めているのか調査・研究していきたい。

参考文献

- ・一般財団法人国土技術研究センター
https://www.jice.or.jp/.../tech/reports/27/jice_rpt27_06.pdf